

第10回 日・独ジョイントワークショップ
“フレキシブルエレクトロニクス”と“健康センサ”

2022年1月31日

ドイツ時間 08:00-12:00, 日本時間 16:00-20:00

主催: ドイツ連邦共和国ザクセン州経済振興公社、ザクセン州有機エレクトロニクス協議会、
国立大学法人 山形大学
場所: オンライン開催

【開会挨拶&基調講演 08:00 – 08:30 CET / 16:00 – 16:30 JST】

08:00 CET/16:00 JST 開会挨拶 ドイツ・ザクセン州経済振興公社 総裁 Thomas Horn

08:05 CET/16:05 JST 来賓挨拶 ドイツ連邦共和国大使館 参事官 科学技術担当 Dr. Lothar Mennicken



08:10 CET/16:10 JST

Dr. Sandro F. Tedde, シーメンスヘルスケア株式会社

「プリント ペロブスカイト: 高性能医療用 X 線検出器への簡易経路」

【プレゼンテーション&ピッチ 08:30-11:00 CET / 16:30-19:00 JST】

<プレゼンテーション(フレキシブルエレクトロニクス)>

08:30 CET/16:30 JST

Ai MIURA, Racing Driver, Satoshi MAEDA, 東洋紡株式会社

「衣服型ウェアラブルデバイスによるバイタルセンシング」

08:40 CET/16:40 JST

Ivan Minev, Sheffield 大学

「細胞、神経、脳をつなぐ電子組織技術」

08:50 CET/16:50 JST

Manabu ITO, 凸版印刷株式会社

「高可撓性 IGZO TFT のセンサ応用」

09:00 CET/17:00 JST

Björn Lüsse, IMSAS, Bremen 大学

「多用途バイオセンシングのための有機電気化学トランジスタ」

09:10 CET/17:10 JST

Chisato OYAMA, 株式会社小森コーポレーション

「グラビアオフセット印刷法によるマイクロバンプの形成」

09:20 CET/17:20 JST

Christoph Tondera, Leibniz Institute of Polymer Research Dresden

「マルチモーダル組織インターフェイスのための導電性高分子ヒドロゲル」

09:30 CET/17:30 JST

Kazuya SHIOJIRI, 株式会社ブイ・イー・ティー

「OLED 向け G8.5H FHM(高精細ハイブリッドマスク)のコンセプト」

09:40 CET/17:40 JST

Marco Fritsch, フラウンホーファー IKTS

「ハートビート - 薬剤開発へむけた心筋細胞モニタリング用プリントプラットフォーム」

— 休憩 —

< ピッチ (健康センサ) >

10:00 CET/18:00 JST

Moe TANAKA, SEMITEC 株式会社

「SEMITEC センサの生物学的応用の紹介」

10:05 CET/18:05 JST

Caroline Murawski, Kurt Schwabe Institute for Measurement and Sensor Technology Meinsberg e.V.

「ニューロンとの結合のためのフレキシブル有機 LED」

10:10 CET/18:10 JST

Claudio Flores, Mimotype Technologies 社

「将来のウェアラブルに向けた生体模倣有機半導体材料」

10:15 CET/18:15 JST

Itaru WATANABE, 三菱ケミカル株式会社

「ヘルスケアセンサ用圧電フィルムの開発とビジネスの可能性」

10:20 CET/18:20 JST

Anja Talo, Enfucell Oy

“Printed batteries enabling new products for healthcare”

「ヘルスケア向け新製品を可能にするプリントバッテリー」

10:25 CET/18:25 JST

Denys Makarov, Helmholtz-Zentrum Dresden-Rossendorf e.V.

「フレキシブルかつ印刷可能な磁場センサ」

10:30 CET/18:30 JST

Kenji NOSE (Ph.D.) and T. TAKEDA, 株式会社 UACJ

「オープン検出アルミニウムパッケージとその薬学的応用」

10:35 CET/18:35 JST

Konstantin Livanov, OrelTech

「次世代金属化技術」

10:40 CET/18:40 JST

Jonas Jung, Organic Electronics Saxony

「健康のためのフレキシブルエレクトロニクスの開発」

10:45 CET/18:45 JST

Yoshiaki AWA, T&H デザイン株式会社

「プロトタイプ製作から量産まで'私たちはセンシング技術とアイデアを繋ぎます」

10:50 CET/18:50 JST

Jarosław Parzuchowski, Medmetric Sp. z o.o.

「AngioScore-シNTAXスコア自動評価のためのソフトウェアツール」

10:55 CET/18:55 JST

Meike Baumgarten, InnovationLab 社

「InnovationLab -プリントエレクトロニクスのワンストップショップ」

【ポスターセッション & 交流会 (Q&A) 11:00-12:05 CET / 19:00-20:05 JST】



挨拶

11:00 CET/19:00 JST

Prof. Junji KIDO, 山形大学

— 記念撮影 —

11:05 CET/19:05 JST Session 1 – 10 分

1-01. Dr. Sandro F. Tedde, シーメンスヘルスケア株式会社 (基調講演者とのQ&A)

1-02. Ai MIURA, Racing Driver, and Satoshi MAEDA, 東洋紡株式会社
(プレゼンテーション発表者とのQ&A)

1-03. Moe TANAKA, SEMITEC 株式会社 (ピッチ登壇者とのQ&A)

1-04. Caroline Murawski, Kurt Schwabe Institute for Measurement and Sensor Technology Meinsberg e.V.
(ピッチ登壇者とのQ&A)

1-05. Aniko Nagi, 3DMA - Prototypen & Sonderlösungen, 「3DMA - 次世代高級インテリアのための木材におけるハイテク」

1-06. Mark Abendroth, ELANTAS Europe GmbH, 「フレキシブルエレクトロニクス向け ELANTAS インクソリューション」

1-07. to 1-16.: 交流会用個別ルーム

11:15 CET/19:15 JST Session 2 – 10 分

2-01. Ivan Minev, Sheffield 大学 (プレゼンテーション発表者とのQ&A)

2-02. Manabu ITO, 凸版印刷株式会社 (プレゼンテーション発表者とのQ&A)

2-03. Claudio Flores, Mimotype Technologies 社 (ピッチ登壇者とのQ&A)

2-04. Itaru WATANABE, 三菱ケミカル株式会社 (ピッチ登壇者とのQ&A)

2-05. Mirosław Dobrzyński, Foundation-Polish-Socio-Economic, 「21 世紀の世界医学のための動的溶液血液検査」

2-06. David Dewey, 藤倉化成株式会社 「DOTITE - Ag / AgCl 伸縮性シリコーンペーストの紹介」

2-07. to 2-16.: 交流会用個別ルーム

11:25 CET/19:25 JST Session 3 – 10 分

3-01. Björn Lüssem, IMSAS, Bremen 大学 (プレゼンテーション発表者とのQ&A)

3-02. Anja Talo, Enfucell Oy (ピッチ登壇者とのQ&A)

3-03. Denys Makarov, Helmholtz-Zentrum Dresden-Rossendorf e.V. (ピッチ登壇者とのQ&A)

3-04. Lars Rebohle, Helmholtz Innovation blitzlab, Helmholtz-Zentrum Dresden-Rossendorf 「薄膜処理用フラッシュランプアニーリング」

3-05. Andrea Glawe, Kroenert 有限合資会社 「プリント大面積電子のための R2R 印刷プロセスおよび機械のコンセプト」

3-06. Dr. Christian Camus, LayTec, 「真空および湿式化学薄膜堆積のためのプロセス統合計測」
3-07. to 3-16.: 交流会用個別ルーム

11:35 CET/19:35 JST **Session 4 – 10 分**

- 4-01. Chisato OYAMA, 株式会社小森コーポレーション (プレゼンテーション発表者との Q&A)
- 4-02. Kazuya SHIOJIRI, 株式会社ブイ・イーティー. (プレゼンテーション発表者との Q&A)
- 4-03. Kenji NOSE(Ph.D.), and Tomoki TAKEDA, 株式会社 UACJ (ピッチ登壇者との Q&A)
- 4-04. Konstantin Livanov, OrelTech (ピッチ登壇者との Q&A)
- 4-05. Aaron Cabrera Asensio, Mateprincs, 「Mateprincs-フレキシブルエレクトロニクス向けインク」
- 4-06. Christian Weisse, MCVE TECHNOLOGIE, 「高容量フレキシブル回路の工業生産における革新」
- 4-07. to 4-16.: 交流会用個別ルーム

11:45 CET/19:45 JST **Session 5 – 10 分**

- 5-01. Christoph Tondera, Leibniz Institute of Polymer Research Dresden (プレゼンテーション発表者との Q&A)
- 5-02. Dr.Jonas Jung, Organic Electronics Saxony(ピッチ登壇者との Q&A)
- 5-03. Yoshiaki AWA, T&H デザイン株式会社(ピッチ登壇者との Q&A)
- 5-04. Lin Wang, Mitsuboshi Diamond Industrial Co., LTD, 「超薄板ガラスとステンレス箔を用いた OLED 照明用基板の切断加工」
- 5-05. Armin Reith, ザクセン州経済振興公社, 「世界をリードするマイクロエレクトロニクスと ICT 集積地としてのザクセン州」
- 5-06. Pēteris Vulāns, SIA Systems Logistics, 「倉庫およびターミナルサービス」
- 5-07. Masaru SAKUMA, Spin 株式会社, 「R2R システムにおけるインプリント・グラビア印刷用着脱式マイクロパターンタイリングロール」
- 5-08. to 5-16.: 交流会用個別ルーム

11:55 CET/19:55 JST **Session 6 – 10 分**

- 6-01. Dr. Marco Fritsch, フラウンホーファー IKTS (プレゼンテーション発表者との Q&A)
- 6-02. Jarosław Parzuchowski, Medmetric Sp. z o.o. (ピッチ登壇者との Q&A)
- 6-03. Meike Baumgarten, InnovationLab GmbH (ピッチ登壇者との Q&A)
- 6-04. Lorenz Granrath, 東北大学 Smart Aging Research Center, 「スマートエイジングのための EU-日本バーチャルコーチに関するプロジェクト「e-VITA」の紹介」
- 6-05. Kengo KUMADA, 山形大学 FROM, 「修飾トリフェニレン誘導体を用いた青色熱活性化遅延蛍光材料群」, Hisaki TSUNEYAMA, 山形大学 FROM, 「フェナントロリン誘導体を n 型ホストとして用いた長寿命深赤色有機 EL」
- 6-06. Yuki KAWAMURA, 山形大学 YU-FIC, 「印刷条件の最適化による大変形できる樹脂シート上の印刷電極の開発」
- 6-07. Christian Mogodici, Zaya A.I., 「組織病理学的診断」
- 6-08. to 6-16.: 交流会用個別ルーム

司会進行および閉会:

ザクセン州有機エレクトロニクス協議会 Dr. Dominik Gronarz

山形大学 Prof. Tatsuhiro TAKAHASHI

使用言語：英語

Special Support by
SmaSys Secretariat members

